

青年部 コーナー

踊車

No.452
萩商工会議所
青年部



現会員数29名

萩青年会議所との 交流会

11月8日(水)に「萩青年
会議所との交流会」が開
かれました。

普段、交流する機会が
少ない人たちとの交流
は、非常に有意義なもの
でした。

食事やレクリエーショ
ンを通し、萩市の経済活
性の内容をはじめ、業務
に関する話や日常生活な
どの様々な会話をしまし
た。より一層、親交を深
めることができたと感じ
ております。

今後、萩商工会議所
青年部の一員として、研
鑽に努めたいと、強く意
識をした一日になりました。

萩青年会議所の皆様、
本当にありがとうございます
ました。
土岐 春樹



11月全員協議会

11月22日(水)に11月全員
協議会が開催されました。

今回は会員同士の親睦を
深めるため、ユーズボウ
ル萩に場所を移しボウリ
ング全協と題して行われ
ました。

協議会終了後3〜4人
ずつレインに入りゲーム
スタート。ストライクや
スペアが出た時には歓喜
の声とハイタッチ、ガー
ターや1本だけ残ったと
きは『あー』という落胆
の声が聞こえる中ゲーム
は進み、優勝は中村君で
した。

いつもと違う雰囲気のも
と会員同士の交流が図
られた全員協議会となり
ました。

榎谷 紘司



岩国商工会議所青年部 40周年記念式典

11月25日(土)に岩国商工

会議所青年部40周年記念
式典および記念祝賀会に
白井監査と2名で出席し
ました。記念式典におい
ては前回の周年から就任
された歴代の会長に感謝
状が授与され、書道パフ
ォーマンスで会場を盛り
上げました。記念祝賀会
でも地元の団体祝賀など
が執り行われ、終始楽し
い時間を過ごすことがで
きました。萩商工会議所
青年部も私で55年目が終
わります。次の60年に向
けて、しっかりと残りの
時間で次年度にバトンを
渡せるように頑張ってい
きたいと思っております。

服部 和彦



新入会員募集中!!

一緒に活動しませんか

所属する会社が萩商工
会議所に加入しており、
なおかつ40歳までの若手
経営者、あるいは、有望
な人材の方がいらしたら、
青年部で己を磨きません
か?多くの異業種の方と
の交流、様々な青年部事
業の運営を通してスキル
アップと一生の友を作っ
てみませんか?学んだこ
とは必ず自身に役立ちま
す。また、ご不明な点が
ございましたら、青年部
事務局や現役青年部会員
にお問い合わせください。

青年部事務局

☎25-33333 担当 瀧





平素より萩商工会議所青年部の活動にご理解ご協力を賜わりまして感謝申し上げます。私たち青年部が、どんな活動をしているのかを多くの方に知っていただきたいと思い本年度1年間を通して、青年部活動についてご紹介いたします。

今回はOB・OGの方と現役会員に青年部に入ってよかったことなどを聞いていく【だから私は青年部】という企画の4回目です。第40代会長をされました、伊勢島修石材店 代表 伊勢島 紀行様と本年度萩商工会議所青年部副会長をされている、萩テレビ(株)の上利祥悟君にお話を伺いました。

全協増強委員会

「出会いの原点は青年部」



元京セラ・KDDI創業者会長の稲盛和夫氏の著書に、人には3つのタイプがある

- 火を近づけると燃え上がる可燃性
- 火を近づけても燃えない不燃性
- 自分で勝手に燃え上がる自然性

物事を成すには自ら燃え上がり、さらにそのエネルギーを周囲にも分かち与える人間になることです。

家業を継ぐ為、高校卒業後愛知県で4年間修業した後、萩に帰り23才から41才まで19年在籍させていたいただきました。当時青年部のメンバーの方には、周囲から何も言われなくても自ら燃え上がる可燃性タイプの人がいる一方で、周りからエ

ネルギーを与えられても冷めきつた態度を崩さず不燃性の方もいらつしゃいました。ただ、不燃性と思われた人も何かのきっかけで可燃性になっていく方も多く、青年部でのたくさんの方の出会いが行動も考え方も自身を成長させてくれるのだと思いました。

青年部入会后、メンバーの先輩から御船謡保存会・消防団に誘われ、会長時には県下青年部のたくさんの方とも知り合いになり、今現在も交流しております。

卒会後は会議所議員・ロイタリークラブと活動範囲が広がり、毎日忙しいですが充実した日を過ごしています。これもすべて青年部の時の先輩・同期・後輩の方のご縁で今の自分がある事に感謝いたします。青年部での経験が今、役に立っている事は言うまでもありません。

若い時にたくさんの方と出会い、自分の世界を広げていってほしいと思います。

伊勢島修石材店 代表 伊勢島 紀行



青年部の1番のメリットは「志を共にする仲間がで

きること」だと思います。私はサラリーマンの立場で青年部に所属しており入会したのは会社側からの打診がきっかけでした。当時、社会人3年目だった私は、青年部がどんな団体かも分からず、不安な思いで会合に出席したのを覚えています。いざ入会してみると、周りの会員は「代表取締役」や「常務」など、立派な肩書きを持つ方々が多く、恐縮な思いでしたが、皆平等に接して頂き、徐々に「自分は萩の経営者たちと肩を並べて活動しているんだ」という思いが芽生え、自らの自信へと繋がったように思います。

冒頭に掲げた「志」とは「ふるさとのために行動す

る」ということです。私は萩で生まれ育ち、大学4年間を東京で過ごした後、自身のふるさとのために仕事をしたいと考え、地元メディアに就職しました。青年部に集まるメンバーは、業種や世代は違えど「萩を盛り上げたい」という同じ志を持って活動しています。しかしながら現在、会員数の減少が喫緊の課題となっております。私は自らの経験から「サラリーマンこそ青年部に入るべきだ」と感じています。地元企業の代表者の皆様には、是非とも若手社員の育成という観点からも、当会への入会をご検討頂きたいと思っております。

萩テレビ(株) 上利 祥悟

